

平成22年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成21年10月30日

上場取引所 JQ

上場会社名 グラウンド・ファイナンシャル・アドバイザー株式会社

コード番号 8783 URL <http://www.groundfa.com>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 佐藤明彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 平野公久

四半期報告書提出予定日 平成21年11月11日

TEL 03-5532-1031

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	20	△72.8	△71	—	△70	—	△68	—
21年3月期第2四半期	76	—	△19	—	△17	—	△50	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△4,567.05	—
21年3月期第2四半期	△3,140.66	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	835	831	99.5	55,294.82
21年3月期	911	908	99.6	60,361.87

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 831百万円 21年3月期 908百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	500.00	500.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	500.00	500.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	117	8.3	△62	—	△59	—	△59	—	△3,952.74

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	16,045株	21年3月期	16,045株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	1,000株	21年3月期	1,000株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第2四半期	15,045株	21年3月期第2四半期	16,029株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、昨年の金融・経済危機による世界的な景気の減速、急激な円高の進行等を背景とした企業収益の悪化、設備投資の停滞等が依然として続いており、政府の景気刺激策等により景気の持ち直しの兆しの一部が見られるものの、雇用情勢の改善が見られず、先行き不安を払拭できない厳しい状況となっております。

当社の主たる事業領域である不動産流動化・証券化市場においては、不動産取引は個人投資家等を中心とした小額取引を除き依然として低調であり、政府等によるREIT支援策が打ち出されているものの、金融機関による融資姿勢が積極化する兆しはまだ見られず、このため証券化手法によるファイナンス案件の組成需要は大きく停滞した状況が続いております。

このような事業環境のもと、当社は賃貸マンション等の新規取得案件等のアレンジに取り組みました。

この結果、当第2四半期累計期間における業績は、営業収益20,888千円（前年同期比72.8%減）となり、経常損失70,596千円（前年同四半期累計期間は経常損失17,930千円）、四半期純損失68,711千円（前年同四半期累計期間は四半期純損失50,340千円）となりました。

なお、営業収益における業務別収益の内訳を示すと次のとおりであります。

（千円未満切捨）

営業収益の内訳	22年3月期第2四半期累計期間	21年3月期第2四半期累計期間
ストラクチャリング業務収益（千円）	10,430	66,907
アドバイザー業務収益（千円）	3,480	6,558
投融資業務収益（千円）	6,978	3,008
その他営業収益（千円）	—	260
合計（千円）	20,888	76,734

2. 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末における総資産は、835,678千円となり、前事業年度末に比較して75,999千円減少しました。これは主に現金及び預金が253,154千円減少したことや、投資有価証券が200,000千円増加したこと及び拠出金が10,000千円減少したこと等によるものです。

負債は、前事業年度末に比べ233千円増加し、3,768千円となりました。これは主に未払金の増加（2,424千円から2,541千円へ117千円増）及び未払法人税等の増加（一千円から130千円へ130千円増）によるものです。

純資産は、四半期純損失の計上等に伴い831,910千円となり、前事業年度末比76,233千円の減少となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は468,568千円となり、前事業年度末比253,154千円の減少となりました。これは、税引前四半期純損失が68,566千円となったことや投資有価証券の取得等に伴い営業活動の結果使用した資金が252,275千円となったこと等によるものであります。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は252,275千円（前年同四半期累計期間は24,244千円）となりました。これは主に税引前四半期純損失が68,566千円となったこと及び投資有価証券の取得に伴う支出が200,000千円あったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果獲得した資金は6,853千円（前年同四半期累計期間は投資活動をしておりません）となりました。これは拠出金の回収によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は7,731千円（前年同四半期累計期間は19,095千円）となりました。これは配当金の支払によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

当社業績の進捗状況や経営環境を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成21年5月14日付「平成21年3月期決算短信（非連結）」にて発表いたしました平成22年3月期の第2四半期累計期間業績予想及び通期業績予想を、本資料にて修正しております。

詳細につきましては、本日、別途開示しております「連結決算開始に伴う平成22年3月期連結業績予想及び個別業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。これは、21世紀アセットマネジメント株式会社を平成21年10月16日付で子会社化したことにより、連結業績予想を公表するものです。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産の減価償却費については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

2. 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	467,592	720,747
営業未収入金	4,109	665
有価証券	100,000	100,000
前払費用	5,959	4,398
未収還付法人税等	—	17,757
その他	4,305	6,997
流動資産合計	581,967	850,566
固定資産		
有形固定資産		
建物	5,239	5,239
減価償却累計額	△2,209	△1,948
建物(純額)	3,029	3,290
工具、器具及び備品	4,269	4,269
減価償却累計額	△2,860	△2,640
工具、器具及び備品(純額)	1,409	1,628
有形固定資産合計	4,439	4,919
無形固定資産		
電話加入権	88	88
ソフトウェア	67	104
無形固定資産合計	156	193
投資その他の資産		
投資有価証券	205,000	5,000
拠出金	—	10,000
破産更生債権等	15	2,045
差入保証金	44,115	44,115
貸倒引当金	△15	△5,161
投資その他の資産合計	249,115	55,999
固定資産合計	253,710	61,112
資産合計	835,678	911,678
負債の部		
流動負債		
未払金	2,541	2,424
未払法人税等	130	—
預り金	1,095	1,110
流動負債合計	3,768	3,534
負債合計	3,768	3,534

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	313,675	313,675
資本剰余金	348,475	348,475
利益剰余金	194,490	270,724
自己株式	△24,730	△24,730
株主資本合計	831,910	908,144
純資産合計	831,910	908,144
負債純資産合計	835,678	911,678

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業収益		
営業収益	76,734	20,888
業務収益	76,474	20,888
その他の営業収益	260	—
営業費用		
販売費及び一般管理費		
役員報酬	15,720	12,984
給料	31,183	32,213
貸倒引当金繰入額	2,303	30
支払手数料	18,214	19,541
その他の販売費及び一般管理費	28,873	28,009
販売費及び一般管理費合計	96,294	92,780
営業損失(△)	△19,559	△71,891
営業外収益		
受取利息	774	133
受取配当金	275	275
還付加算金	633	576
未払配当金除斥益	—	310
営業外収益合計	1,683	1,295
営業外費用		
支払手数料	53	—
営業外費用合計	53	—
経常損失(△)	△17,930	△70,596
特別利益		
新株予約権戻入益	2,337	—
貸倒引当金戻入額	—	2,030
特別利益合計	2,337	2,030
特別損失		
投資有価証券評価損	32,045	—
特別損失合計	32,045	—
税引前四半期純損失(△)	△47,637	△68,566
法人税、住民税及び事業税	145	145
法人税等調整額	2,557	—
法人税等合計	2,702	145
四半期純損失(△)	△50,340	△68,711

(第2四半期会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
営業収益		
営業収益	49,570	11,152
業務収益	49,310	11,152
その他の営業収益	260	—
営業費用		
販売費及び一般管理費		
役員報酬	7,860	6,462
給料	15,477	17,413
貸倒引当金繰入額	2,303	—
支払手数料	6,442	8,380
その他の販売費及び一般管理費	13,798	14,254
販売費及び一般管理費合計	45,881	46,510
営業利益又は営業損失(△)	3,688	△35,358
営業外収益		
受取利息	529	132
還付加算金	553	435
未払配当金除斥益	—	310
営業外収益合計	1,082	879
営業外費用		
支払手数料	53	—
営業外費用合計	53	—
経常利益又は経常損失(△)	4,717	△34,479
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	2,030
特別利益合計	—	2,030
特別損失		
投資有価証券評価損	32,045	—
特別損失合計	32,045	—
税引前四半期純損失(△)	△27,327	△32,448
法人税、住民税及び事業税	72	72
法人税等調整額	11,729	—
法人税等合計	11,801	72
四半期純損失(△)	△39,129	△32,521

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失 (△)	△47,637	△68,566
減価償却費	652	517
ストックオプション費用	240	—
新株予約権戻入益	△2,337	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	32,045	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,303	△1,999
受取利息及び受取配当金	△1,049	△408
営業債権の増減額 (△は増加)	△26,661	△3,444
未払金の増減額 (△は減少)	△371	326
未払消費税等の増減額 (△は減少)	4,612	4,607
匿名組合出資金の増減額 (△は増加)	△260	—
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	—	△200,000
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	△2,303	2,030
その他	△1,609	△3,228
小計	△42,377	△270,165
利息及び配当金の受取額	1,049	408
法人税等の支払額	△974	△683
法人税等の還付額	18,057	18,164
営業活動によるキャッシュ・フロー	△24,244	△252,275
投資活動によるキャッシュ・フロー		
拠出金の回収による収入	—	6,853
投資活動によるキャッシュ・フロー	—	6,853
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△3,234	—
配当金の支払額	△15,860	△7,731
財務活動によるキャッシュ・フロー	△19,095	△7,731
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△43,339	△253,154
現金及び現金同等物の期首残高	839,040	721,722
現金及び現金同等物の四半期末残高	795,700	468,568

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

(重要な後発事象)

平成21年10月2日開催の取締役会において、21世紀アセットマネジメント株式会社の株式を取得し、同社を子会社化すること、またそれに伴い、新規事業として「金融モール」を展開することを決議いたしました。

1. 株式取得の理由

21世紀アセットマネジメント株式会社は、独立系の投信投資顧問会社として運用能力に定評があり、機関投資家等とのパイプを有する同社を子会社化することで、「金融モール」における機能のうち、特に金融投資商品に係る製造・組成機能、運用機能、販売機能を取り込むことを目的とし、株式を取得するものであります。

2. 異動する子会社の概要

(1) 商号	21世紀アセットマネジメント株式会社
(2) 主な事業の内容	投資信託委託業、投資顧問業
(3) 資本金	1,063.3百万円

3. 株式取得の方法

21世紀アセットマネジメント株式会社の既存株主からの株式譲受及び第三者割当増資の引受により、同社株式27,000株（所有割合64.8%）を取得いたしました。

(1) 株式の取得について

(取得の内容)

株式の取得先	アセット・マネジャーズ・ホールディングス株式会社 (4,800株) アエルコーポレーション株式会社 (1,200株)
取得価額の総額	48百万円
株式取得の時期	平成21年10月5日

(2) 21世紀アセットマネジメント株式会社の行う第三者割当増資の引受について

(引受の内容)

引受株式数	普通株式 21,000株 (今回発行株式数 21,000株)
引受価額の総額	252百万円
払込期日	平成21年10月16日

4. 取得株式数、取得価額および取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0株 (所有割合 0%) (議決権の数 0個)
(2) 取得株式数	27,000株 (取得価額の総額 300百万円 内訳：第三者割当増資 252百万円 株式譲渡 48百万円) (議決権の数 27,000個)
(3) 異動後の所有株式数	27,000株 (所有割合 64.8%) (議決権の数 27,000個)

5. 新規事業の概要

(1) 事業の名称	金融モール事業
(2) 事業の内容	子会社となる21世紀アセットマネジメント株式会社を中心として投資信託委託業、投資顧問業、金融商品取引業（第2種）を展開する予定。
(3) 担当する部署	子会社となる21世紀アセットマネジメント株式会社を中心となって担当する予定。
(4) 支出額	300百万円 (21世紀アセットマネジメント株式会社の株式取得に係るもの)
(5) 新規事業開始日	平成21年10月16日